

## 平成 28 年度 障害当事者部会 活動報告

### ◆第 4 回、第 5 回 実施報告

#### (1) 第 4 回 (平成 29 年 1 月 12 日)

##### ・文京区障害者自立支援協議会他部会当事者委員との交流

各委員から自己紹介をし、各部会での活動報告を行った。権利擁護専門部会委員からは、意思決定と自己決定の違いを知ったという意見があった。就労支援専門部会委員からは、部会への出席経験はないが、今後は働きたいと思っているという話があった。相談支援専門部会委員からは、当事者とその親が高齢化している問題や、文京区内には空き家が多く、民間で利用が出来ないかという意見があがっていた。当事者部会委員からは、当事者部会の平成 27 年度の活動報告を行った。

##### ・文京区障害当事者部会でのシンポジウムの参加について

平成 28 年 3 月に東洋大学にて当事者の方によるシンポジウムを開催した。今年度も開催の運びとなった。日時としては 3 月 19 日(日)午後で、場所は東洋大学内の 100 人収容の会場を予定している。横浜市在住の障害当事者である奈良崎真弓氏が参加予定。お互いの障害に関する理解が深まったという話が出来ればよいと思う。また、国立市の当事者の方も当日参加予定となっている。一芸披露やシンポジウム終了後には打ち上げを予定している。上記の内容をもとに意見交換や役割分担等を行った。

##### ・文京区障害者差別解消法グッズの内容について

障害福祉課では、昨年 4 月の障害者差別解消法の施行を受けて、障害理解の促進のための取り組みとして、子供や民間事業者を対象とした啓発グッズを作成する運びとなった。①カルタ ②カレンダー③クリアファイルの作成を予定している。委員から視覚障害の方でも分かるような作成にして欲しいという声や触図は入るのかという質問があったが今回は予算上難しいかもしれないと返答があった。

##### ・その他

障害福祉課より虐待防止講演会の案内があった。また、他部会委員との交流時間がもっと欲しかったという感想があった。

## (2) 第5回(平成29年3月14日)

### ・東洋大学福祉社会開発研究センターシンポジウムの内容について

3月19日に行われるシンポジウムについて、副会長の志村委員より当日の進め方について説明があった。事務局より区報に掲載したこと、区内事業所にチラシを配布した報告あり。委員よりケーブルテレビの取材はあるか等の質問があがった。

### ・今年度活動の広報について

平成28年5月23日に過去3年間の当事者部会の活動や委員の声を載せた広報誌を発行した。今年度の広報誌について、再度広報誌を作成するのか、それとも他の方法を考えるのか検討を行った。結果、広報誌は継続して作成できた方がよいという意見が多数で、発行することになった。内容については、活動報告、委員の紹介、委員の生活の様子、寄稿文、福祉センター祭りで行ったシンポジウムの報告等を載せることになった。また、レイアウトについては内容が増えるためA3 1枚からA3 裏表1枚にして文字は大きく視覚障害者にも見やすいものにする事になった。事務局がレイアウトを作成して、平成29年度の1回目の部会で検討することになった。

### ・障害当事者部会活動の振り返りと来年度の活動について

今年度の振り返りについて、委員から以下の感想があがった。

- ・大変だったけど面白かった。楽しかった。
- ・総合福祉センター祭りで、シンポジウムに参加できたこともよかった。
- ・座談会が会議形式になってしまった。来年度は在り方を考えたい。
- ・お互いに違う障害があっても交流できたことがよかった。勉強させてもらえた。

上記意見をもとに次年度1回目1年間の活動を考えていくことになった。

### ・その他

委員から就職するかもしれないという報告があった。